

# 黒岩 ヒストリー (第四話)



## 高校時代後篇 - その1 -

さて、今回は高校時代の前半を紹介したので今回は後半からお話したいと思います。サッカー部は春の時点で顧問から服装を注意され、直さずにいたら遠征メンバーから外される事に。試合に出られないのならいっしょうがないので夏には退部しました。という事で高2折り返し以降は特段やる事もなく友達と遊び惚けていました。

高3が近づくに連れ、進路によるクラス分けの希望がとられる事に。六日町高校(六高)はそれまで3年時に理系(2クラス程度)、国立文系(3クラス程度)、私立文系(=通称「就職組」3クラス程度)の3コースに分かれていました。それが私たちの学年から国立、私立の分類がなくなりシンプルに理系、文系の2コースに。そもそも当時六高の4年制大学進学率は3割程度だったので国立も私立もないだろう、という事になったのかも知れません。私はその時点で何ら具体的な進路を描いていませんでしたので、「特段、理系はないな」という程度で迷いなく文系コースを選びました。

この間、私の成績は、というと前回紹介した通り、高校入学後初めての定期テストで社会科100点満点中50点という有様で、はなから中学までの貯金を食い潰している状

## 「Go To 被災地」



### 黒岩4コマ劇場

北海道旭川市は医療崩壊状態となり、遂に市長は自衛隊に看護官を要請。国はコロナを災害と位置付けて看護官派遣を決定。しかし、旭川市はGoToトラベルの対象地域のままでしたので多くの観光客が同時に被災地を訪れる皮肉な結果となりました。

態。その後も丸2年間、定期試験の一夜漬けを除き家では一切勉強しない、というかしようと思っても全く身の入らない時期が続きました。高2の春、学年の初めに英国数3教科の校内テストがあるのですが、数学で21点と人生でも記録に残る点数を食らった事を覚えています。1年時の校内テストの学年順位はそれでも1ケタだったのですがこの時は確か60何番目、かと。まあ正直、理系とか文系とか言う事自体がおこがましい状況に陥っていました。

そんな状況の中、ある事をきっかけとして私が猛勉強を始めるのです。それは春休みに入った直後の3月中旬、当時付き合っていた彼女からふられるという17歳の高校生としてはショッキングな出来事でした。



## 「黒岩たかひろ応援団」に是非ご入会を!

「黒岩たかひろ応援団」は黒岩たかひろの更なる飛躍を期し、会員一人ひとりがその政治活動をサポートすることを目的としております。皆様から頂いた会費は、会報の発行を含む政治活動に活用させていただいております。また、応援団ご入会の方には優先的に地域で行われる集会、座談会のご案内をさせていただいております。今後、より充実した活動を行うためにも多くの方のご入会をお待ちしております。

**【年会費】** 年額1口5,000円より  
**【お振込先】** 郵便局：口座番号 00550-4-74787 口座名「黒岩宇洋と歩む会」  
 銀行：第四北越銀行 新発田中央支店 口座番号(普) 2104899 口座名「黒岩たかひろと歩む会」

**会費納入にあたっての注意事項**  
 1. 外国人からの政治活動に関する寄付を受け取る事はできません。  
 2. 本人以外の名義または匿名により政治活動に関する寄付をすることはできません。

# まつりごと 黒岩政通信

第23号  
2021年1月4日発行



家の近所の諏訪神社(新発田市) 妻美春・娘継末(小2)・息子一馬(年長)

# 勝負の年、 明ける

新年を迎えるに当たり、旧年中の感謝と本年にかける決意を申し上げさせて頂きます。

昨年9月に7年8ヶ月にも及ぶ安倍長期政権が終わりを告げ、菅新政権が発足致しました。その直後に「日本学術会議任命拒否問題」が発覚。10月からの臨時国会は学術会議に明け、コロナ感染・GOTOトラベル問題で荒れ、最後は桜問題、吉川元農相裏献金疑惑で閉じる、というかつてない醜悪な国会となりました。この間、最も説明責任を果たすべき菅総理は国会答弁でしどろもどろ、予算委員会は極力開かずと、逃げる、隠れる、はぐらかすに終始。強権的で国会軽視の安倍政権を引き継ぐ、いや皮肉を込めてそれを上回る体質を露呈致しました。

我々野党は同じく昨年9月、ようやく3年ぶりの合流。枝野代表の下、衆議員108人の新・立憲民主党が誕生致しました。3年前の解散時、衆議員93名だった民進党と比べ規模も大きく、そしてかなり主張が異なるメンバーが離反したが故に結束力をより伴った政党になったのです。

今年10月までに必ず解散総選挙が行われます。私は徹底したコロナ対策と、一部の人がばかりが得をする歪んだ政治を是正して、多くの国民が利益享受を実感できる国づくりを目指して参ります。激しい選挙戦となりますが、絶対に勝ち抜くという決意を申し上げ新年の挨拶とさせて頂きます。

衆議院議員  
黒岩宇洋 たかひろ

# 問題だらけの菅政権

## コロナで利権はご勘弁

昨秋から第3波が襲来し、東京、大阪、北海道など人の往来が激しい地域を始めとして全国で感染者が急増しました。しかし、菅総理は自身肝いりのGoToトラベルに固執し過ぎて対応があまりにもチグハグ。GoToトラベル自体は良い制度であり、新潟3区の観光地にも大切な事業ですから続けて欲しいのですが、感染拡大期には2週間程度一旦中断すべきと私たちは強く主張してきました。漸く菅総理は年の瀬になって年末年始一時停止する事に。遅すぎます。私たちが言っていた通り11月中に一時停止しておけば旅行業界にとってかき入れ時の年末年始にGoToを使えたかも知れませんが、多くの方が故郷に帰省できたでしょう。菅総理も二階幹事長も誰もが知る観光族議員のドン。大手旅行会社を守るが為に国民の健康や経済全体を脅かす様な事は現に慎むべきです。

昨年11月に立憲民主党議員で初めての感染者が出て以降、党として枝野代表ら党役員が週末地方遊説に出る際には自主的にPCR検査を受ける事となりました。私が兼ねてから主張している様に、感染防止拡大と経済の両立を成し遂げるには徹底したPCR検査が一番の近道。陰性と分かれば人に感染させず、合わせて経済活動も活発に行えるからです。菅政権の様にとどろつかずで二兎追う者は二兎をも得ず、ではなく一兎追う者は二兎をも得る、を実現させなければなりません。

## 代表選の裏側で

昨年9月に行われた新・立憲民主党の代表選において、私は枝野選対の事務局次長を務め、集票を担当する事に。私としては元々無所属で、立憲と国民の間に位置していたので、無所属から新党に加入する約15名の票固めと国民民主出身の親しい議員への声掛けが自分の仕事と考えていました。

ほぼ自分の仕事をこなし、枝野さんに報告してこれで終わりと思っていたらこれが大きな思い違い。内々情報で元々立憲の議員の中で枝野さんを支持しないという議員がゾロゾロと出てくるではありませんか。立憲民主党は枝野さんが立ち上げ枝野さんの旗の下に集結し、その後は「枝野独裁」と揶揄される程でした。しかし、聞くのと見るのは大違い。慌てて彼らの説得に当たる事となりました。結果は無事枝野さんが代表就任。不満も含めて党内の様々な意見を日ごろから交換させておく事が大事な事ですよね。私は国対委員長代理として臨時国会中に約25名の1年生議員全員を毎週少人数に分け(万全なコロナ対策も行いながら)、懇親会を行い彼らの話を聞きました。八百万(やおよろず)を請け負う事も国対の仕事です。



9月7日代表選挙枝野幸男決起集会・司会を務める

## 中曽根総理が泣いている — 学術会議 —

昨秋に発覚したのが「日本学術会議任命



学術会議任命拒否問題 野党合同ヒアリング

拒否問題」。そもそも日本学術会議は太平洋戦争中、科学者が無理やり戦争協力させられた反省に基づき、昭和24年、政府を科学的、客観的に正す機関として誕生しました。故に委員の選定が推薦になった1983年、中曽根総理以降かたくなに学術会議から推薦された者を法律上任命拒否はできない、推薦通り任命すると国会答弁をし、実際に任命拒否をしてこなかったのです。菅総理の任命拒否は歴代総理、政権に泥を塗る法律違反の暴挙。航海に例えるなら政権が迷走しないための羅針盤を自らの手で壊し始めた様なものです。臨時国会で菅総理は6名の任命拒否理由を一切述べる事ができませんでした。この問題は現在沈黙化していますが大変深刻な問題として今後も見張って参ります。



TBSBS「報道1930」に中谷元防衛大臣と共に出演

## ホントの嘘つきバレちゃった — 桜を見る会 —

臨時国会の最終盤、いきなり季節外れの桜が舞い降りてきました。「桜を見る会前夜祭」を巡る疑惑で安倍前総理の秘書が検察から事情聴取を受けたのです。

昨年の予算委員会では再三前総理と応酬。前総理が私を「真っ赤なウソつき」呼ばわりし、私が「そっくりそのままお返しする」と火花を散らしました。私はホテルニューオータニが私たちの問い合わせに「ホテル内のパーティーのお寿司は全て『久兵衛』」と回答した事を受け、野党ヒアリングという非公式な場で「『久兵衛』の寿司が出た可能性がある」と可能性を指摘しただけ。逆

に総理はホテルニューオータニには契約などについて定めた『定款』そのものがない」と予算委員会という公式の場で虚偽の答弁をしたのです。

その時点でどちらがウソつきかは明らかでしたが、この度の事情聴取で事務所側が今までに前総理が完全否定していた①「安倍後援会の関与」、②「ホテル明細書の存在」、③「安倍事務所による会費補てん」を自ら認めました。安倍総理は「秘書に騙された」とトンデモ説明。法的責任は検察・司法に任せる事にしますが、政治的・道義的責任は国会で徹底して説明してもらいましょう。



総理主催「桜を見る会」追及本部ヒアリング

## 令和の時代に入院か — 吉川元農水相裏献金疑惑 —

臨時国会が閉じたとたん、菅政権にとってダメ押しで飛び出てきたのが吉川元農水相の裏献金疑惑。疑惑の内容は吉川氏が農水大臣時に鶏卵業者から裏献金500万円を三回に分けて、しかもその内二回は大臣室で直接受け取り口利きしたというもの。事実とすれば言語道断です。

疑惑報道後の吉川氏の対応がまたお粗末。瞬く間に入院しました。これは昭和、平成初期にはよく見られたケース。最近では久しぶりです。入院という事はマスコミなどに何も答えられないという事です。昨今の政治家疑惑でよく登場する、あり得ない方便すら持ち得ていないという事です。如何にも苦しい。相場的な観測で言えば逮捕(強制捜査)を免れる事は難しいでしょう(昨12月中旬執筆時では不明)。